
ガチガチちんぽでサポートしなさい。
巨乳ハーレム女学院生徒会
幼なじみ達を完堕ちさせた話。
ガチガチでチンポ

僕が親の転勤で
引っ越したのが３年前・・・

いつも一緒に過ごした
あの３人ともお別れする事に
なってしまった・・・

今でも・・・あの３人との
別れのシーンをありありと
思い出す事が出来る・・・


引越しする？
分かった・・・結婚しよう
僕たちまだ○学生だよっ!?
ひ、引越しってうそでしょ!?
お別れの品は・・・今はいてるパンツと靴下でお願いねっ！
お別れの品のクセが強いっ
引越しする？・・・そう
私の家の庭・・・犬小屋がひとつ余ってるから・・・
同級生をペット扱い!?
み、みんな・・・こんな僕と仲良くしてくれてありがとう
大きくなったらまたみんなで・・・
みんなで仲良く遊ぼうねっ

森木公太君・・久しぶりね
元気そうでなによりね

突然この女学園に
編入されて
びっくりしたでしょ？

あ、あおいちゃんのお母さん・・
いや、学園長先生っ
これはいったい
どういう事ですか？

・・・この学園はね

生徒会が
すごい力を
持っているの

今年の生徒会に
選ばれたのは
たった3人。

この3人たっての希望で
公太君をサポート役に
したいと指名してきたの

まぁ学費もタダだし
相手は仲の良かった3人だもの
良い学園生活になると思うわよ

これは今の彼女たちの
スペックと情報ね
しっかりサポート
してあげてね♪

生徒会

こ、ここが
生徒会室か・・・

こ、こんにちわ～


こうた…
元気そうだな。
こうちゃんっ
久しぶりっ
こうた君…
こんにちわ…。


や、やあ
みんな元気そうだね…。
僕、みんなのサポート役にって
転校してきたんだ。
前と同じように仲良くしてねっ。


大丈夫っ！
私たちはこうた君が
男性だからって差別なんかしないからっ


ポツーン…
みかん


あ、この雰囲気…
3年前と全然変わってない


いや格差っ
ごめんねー一応ほかの子たちの目もあるから…
ちょっとだけそこで我慢してね。たはは～っ


3人全員前と変わってないんだ…。


3人はずっとあの頃のままで
あおいちゃんがみんなをまとめて3人がすごい事を簡単にやっちゃう。
そして僕が…3人の後ろをついてって…。


なんだけど…
やっぱり女学院に男の子が僕一人って…


すっごく居心地が悪いよ～。

この時、僕はこの女学園の
サポートがどういう仕事か・・・

まったく理解していなかった・・・

そしてある日の放課後、
僕はカレンちゃんに呼びされた・・・


あ、カレンちゃんっ
確かこっちにプールがあったはずだけど・・・
こうた・・・ちょっとサポートしてほしいんだけど・・・
カレンちゃん・・・昔から運動神経が良かったけど今は水泳部のエースだもんなぁ
う、うんわかったっ
しかもすごく美人になっちゃってちょっと緊張しちゃうな・・・


学園長から聞いているぞ・・・
こうたはここを使って私をサポートしてくれると・・・
それじゃこうた・・・
え!?
まっ
は―…
ちょこっ
ぬる…
ぞくぞく
サポートお願い・・・
こうたの・・・すごく硬くなってるな
まって
まって
ちょっとぬるってるし・・・
あっ
こうたのは・・・もう準備良いみたいだな


ほらこうた・・・
それを私のあそこに使うんだろ？
は―…
は―…
は―…
は―…
ぼ、ぼくはカレンちゃんのサポート係だから・・・しっかり期待に応えないとっ
う、うん
くちゅ
んっ
ぬにゅん
あ、ああっ!?
す、すごいっ僕のが一瞬でカレンちゃんの中に吸い込まれたっ
は―…
は―…
い、いいぞっこうた・・・
は―…
は―…
もっといっぱい私の中で動いてみてくれ・・・っ
は―…


う、うん・・・っ
うわっ僕のあそこが愛液でテカテカに光ってるっ
出し入れするたびに膣肉がからみついて・・っ
すぐに出ちゃいそう・・っ
んっ
んっ
んっ
んんっ
んっ
あっ
あっ
あっ
こうたのサポートすごい・・・っ
あっ
あっ
あっ
こ、こうた・・・っ気持ち良い・・・っ


カ、カレンちゃん…っ
僕…もうっ！
はー…
こ、こうたっ
私も…っ
すごいのが…っ
はー…
あ、あああああっ
んんっ
んっ
んーッ


はー…
へたぁ…
はー…
はー…
や、やばかった…
ぜ、全部なかで
出しちゃう所だった…
はー…
はー…
こ、こうたのおちんちん…
ぶるっ ぶるっ
すごく硬いのに優しくて…
気持ち良かった…
こうたのサポート
すっごく良かったぞ…
はー…
はー…
はー…
ガクガク
ああっ
カレンちゃんっ
今、イッた所だからっ
ビクン
ビクッ
あっ
ビクッ
あっ
こうた…
やっぱり私は…
将来お前と…

この女学園のサポートが
あんなエッチな事だったなんて・・・

今日はみずきちゃんに
文芸部の部室・・・
図書室に呼び出された

まさか昨日のような事は
おきない・・・そう思っていた・・・


あ、こうた君・・・
もういらしていたんですね・・・
こうた君・・・
今日は付き合って頂いてありがとうございます・・・
うん、僕も読みたい本があったから
全然いいよっ
みずきちゃんとはよくこうやって本を読んでたけど・・・
今は作家を目指してるんだっけ
カチャカチャ


え？
・・・煮詰まりました。
わっ
ど、どうしたのっ!?
ビク
メガネ
それじゃあ
こうた君・・・
サポートして・・・
頂けますか？
する・・・
あ、あー・・・なるほど
みずきちゃんも・・・
サポートするんだ・・・
そりゃそうだよね・・・
ぽたん・・・


そ、それじゃあみずきちゃん入れるよ…
あっあっあっ入ってきた…っ
は…
こ、こうた君のおちんちんが私の…中にっ
は…
ぬるる…
は…
あっ
あっ
あ、あああっ！
えっ!?
えっ!?
み、みずきちゃんもしかして入れただけでイっちゃった？
は…
こ、こうた君…
は…


こ、こうた君の…
おちんちん…
すごく硬い…
はー…
すごく硬くて…
気持ち良い…
はー…
私…気持ち良いですっ
やっぱりみずきちゃんって…
すごく感じやすいんだ…
はー…
ぬるるる～っ
う、動くよ…っ
はー…
あっ
あっ
はー…
アッ
アッ
はー…


か、硬い・・・っ
硬い・・・ですっ
かた・・・っ
ぎゅぅ
は！…
ぢゅッ
ぢゅッ
ぢゅ〜〜〜♥
は！…
は！…


み、みずきちゃんの中・・・っ
そんなに動いたらっ
ぼく・・・もうっ
わ、私も・・・っ
はー…
はー…
イ、イクッ
ひっ
あっ
あっ
ああっ
あああぁ・・・っ


はー…
はー…
はー…
Hロオ…
はー…
まだ硬いですね…っ
くちゅ
あっ
ビクッ
はー…
はー…
はー…
すっ
はー…
ぎゅっ
こうた君…っ
もう離れないでくださいね…
はー…

２日連続でのセックスサポート・・・

あまりの荒唐無稽さに僕は
ほとほとに疲れてしまった・・・

幸い２人は今日は欠席・・・
保健室でゆっくり休めるはずだった・・・




き、今日はカレンちゃんと
みずきちゃんがいないから・・
ちょっと・・・
休ませてもらおう・・・


あおいちゃんは
今日も元気だったなぁ・・・
それなのに僕は2人の
サポートだけで体力が・・・


スー・・・
スー・・・


こうた君？


あれ!?
ガチ寝しちゃってる・・・
スー…
スー…
こうた君・・・昔から
身体弱かったものね・・・
・・・・・・
そういえば私のサポート
してくれるんだよね・・・?
ちょっとだけ
だから・・・っ
そ、それじゃあ
ちょっとだけっ
ギシッ


こうちゃん…っ
こうちゃん…っ
こうちゃんに貰った靴下
まだ大事に持ってるんだからっ
こうちゃんの匂い…っ
におい…っ
におい♥
ぎゅうぅ
はー…
はー…
はー…
びくびく
さわさわ
さわ
ここが…いちばん
こうちゃんの匂いが強いねっ
くちゅ♥
くちゅ♥
すっごく
硬くなってるよ？
びくん
こうちゃんのあそこ…
ガチガチでとろとろっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
びくびくっ
こう？こすられるの
気持ち良い？


ん…？
なんだろう…
あそこがすごく
あったかい…
えっ!?
は…
あ…っ
こうちゃん起きた？
は…
ごめん…ね？
私ちょっとサポート
してもらうと思って…っ
は…
くちゅ…
は…
だ、大丈夫っ
私うまくやるからっ
は…
こうちゃんは
じっとしてて…っ
は…
ぬろろろ
あっあっ
ほ、ほら全部っ
入るから…っ
は…


わ、私が動いてあげるからっ
はー…
こうちゃんはいっぱい気持ち良くなっていいよ❤
ぬるぅ…
はー…
こ、こうちゃんの…っすごい…っ
こ、こんな硬いなんて…っ
ぬるぅ…
はッ
え、ちょっと待って…っ
腰…止まんないっ
硬い…っ
か、硬い…っ
硬いっ
はッ
ぢゅッ
ぢゅッ
ぢゅッ
ぢゅッ
ぢゅッ


これ・・・やばいっ
き、気持ち良いっ
はー…
ぬぷ
はー…
硬いっ
はー…
硬いっ
はー…
あ、あおいちゃんのあそこもっ気持ち良いよっ
あっ
あっ
ほ、本当？嬉しいっ
私もこうちゃんのおちんちん・・・っ気持ち良いよっ


ご、ごめんっ
こうちゃん・・・っ
はー…
私・・・っ
先にイクッ
はー…
イき・・・そうっ
はー…
はー…
イクッ
ギュラっ
あおいちゃんっ
そんな締め付けたらっ
ぼくも・・・っ
はー…
イクッ
はー…
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
はー…

出る…っ
出ちゃう…っ
ビクッビクッ
あっ
ぐちゅぐちゅ
あっ
あっ


はー…
すごい…❤
はー…
ドピュ
はー…
男の子ってこんなにいっぱいでるんだね…っ
はー…
こうちゃんの…まだ硬い…
はー…
ぎゅっ
はー…
こうちゃん今日はサポートありがと…
はー…
すっごく気持ち良かった…っ
はー…
また…明日もよろしくね❤
はー…

生徒会だけに伝わる
エッチなサポート・・・

もちろんこの事は
他の生徒には他言厳禁・・・っ

とはいえ表立った生徒会執行部の
サポートも僕の大事な仕事だった


うわ〜っ
ちょっと遅れ
ちゃったっ
ん？
どうしたんだろ
だ・か・ら〜
私が1番忙しいんだから
こうちゃんは私の専属に
すべきって言ってるの！
どーん!!
ダメ…
ダメ…
こうたの独り占めは
許さない…
な、何を
言い争ってるんだ…汗


私はこうちゃんのためなら・・・
フェラ・・・だってしてあげるんだからっ
こうたが求めるなら私だって・・・
どんな場所でだって応じてあげられる・・・
はぁ
こ、更衣室!?バレたら大スキャンダルじゃないっ
私も・・・
はぁ
はぁ


こうたくんのどんな性癖でも応えてあげられる…
さわっ…
に、にくべ!?
い、いちまん!?
これあいつが書いたの!?
公衆肉便器
正正
一万回
む〜〜…
あ、あの〜…
通してもらって…いいですか…
!!
こうちゃん…っ
通ればいい　じゃない！
ばっ
あーうん、どいてくれない感じね…
お、おっぱいの圧がすごい…


…
ギュッ
えっ
グイッ
ど、どうしたの？
別に…
ガラッ
パッ
えっ
なにこれ!?
ドン
えへへ
びっくりした？
おかあ・
理事長に頼んでね
だ・か・ら❤


今日は3人まとめて
は…
サポートして頂戴ね♥
は…
むあ…
は…
は…


あっちょ、まって…っ


今日ぼくは…
生きて帰れるのだろうか…
あっ
あっ


はー…
これがこうたの…
はー…
ちゃんと見るの
初めて…
はー…
はー…
はー…
はー…
あっ
はー…
はー…
ああっ
はー…
ちゅ♥
ちゅ♥
ちょっ
はー…
はー…
ちょっと
まってっ
はー…
でるっ
でちゃうっ
はー…
はー…
とめて
とめてっ
はー…
はー…


あっ
あっ
あああ・・・っ
ビュッ
ビュッビュッ
ビュ
む〜私だってフェラしたこと無いのに・・・
は！
は！
は！
は！
それじゃあこうちゃん・・・
は！
私はキスしちゃうから・・・
は！
ん・・・っ
んん・・・っ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ヒク
あ・・・っ
また大きくなってきた・・・
むくむく


それじゃこうた
最初は私から…
サポートお願い…
は！…
は！…
は！…
くぱぁ


カレンちゃん…
入れるよ…
くちゅ
んっ❤


う、うん
は！…
は！…
は！…

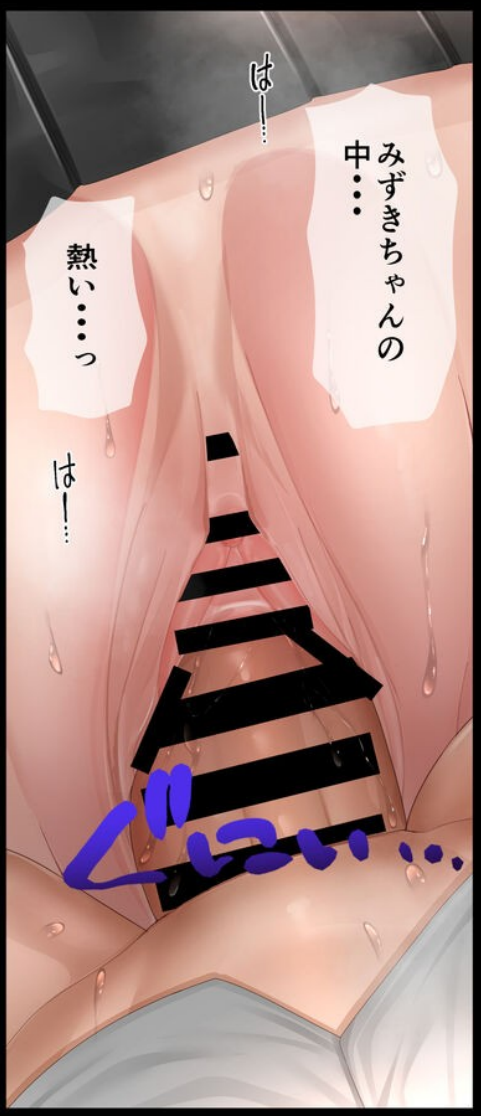

あっ
あっ
くぷっぷぷっ
んっ
んっ
んんーっ
ふーっ
ふーっ
ふーっ
ぢゅぷぷっ
やっぱり…
こうたの…すごいっ
はーっ
はーっ
はーっ
こうた…
好きに動いて
いいぞっ
はーっ
う、うん
はーっ
はーっ
カレンちゃん
動くよ…
あっあっ


あっ
あっ
あっ
は！
パン
パン
パン
パン
き、気持ち良いっ
こうたっ
パチュッ
パチュッ
パチュッ
パチュッ
ぼ、ぼくもっ
イクっイクっ
ガシッ
え!?
ちょっ
カレンちゃん!?

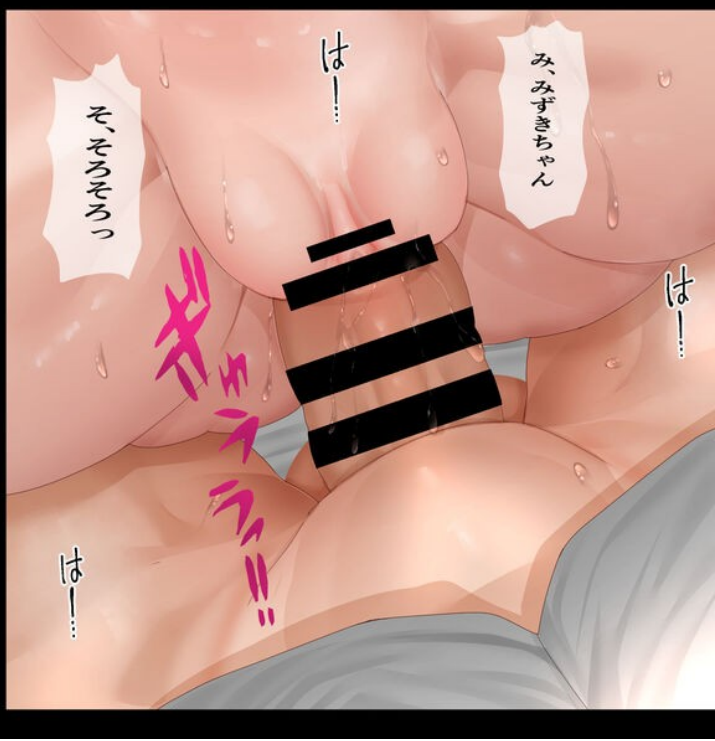

あっ
はー…
あっ
はー…
あっ
はー…
ビクッ
ビクッ
ひっ
はー…
ずぶっ
ヒロ…
はー…
はー…
あー中で出したっ
はー…
はー…
ずるーいっ
はー…
はー…


それじゃあ
こうた君・・・っ
次は私・・・
はー…
サポートしてください・・・
はー…
はー…
はー…
ま る・・・
ぐぢゅぐぢゅ
はー…
う、うん
でもちゃんと
拭かないと・・・
トロ…
そのままで
いいから・・・
はー…
はー…
くちゅ♥
はー…


あっあっ
私…っ
はー…
はー…
はー…
すごく
気持ち良いっ
はー…


みずきちゃんの
中…
はー…
熱い…っ
はー…


外は…だめっ
はー…
中に…
くださいっ
はー…
はー…


み、みずきちゃん
はー…
そ、そろそろっ
はー…
はー…

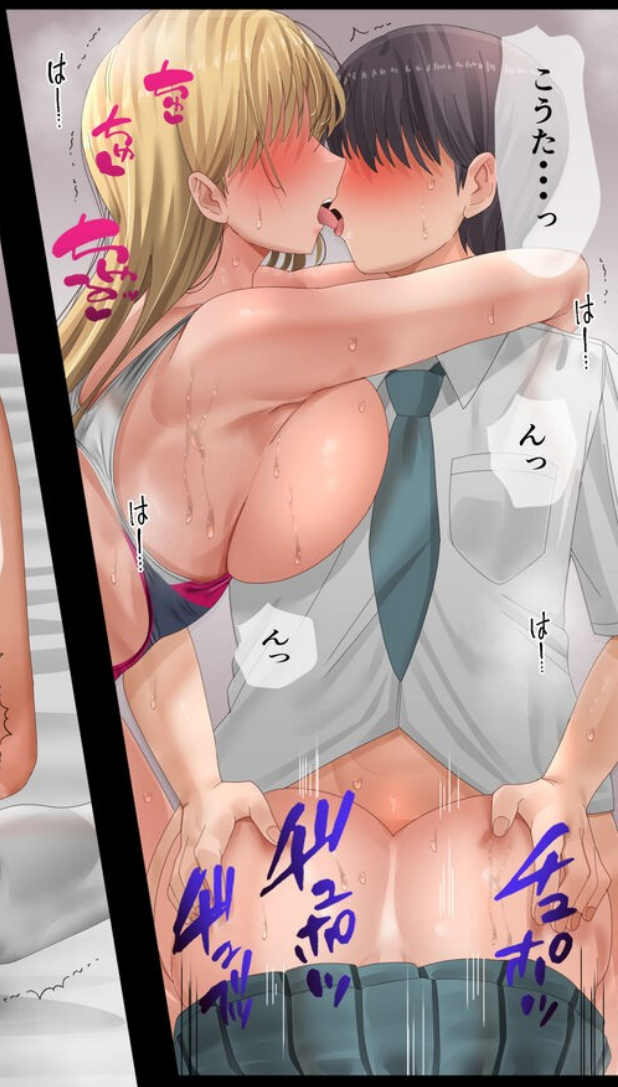

あっ
あっ
はッ
あ、あぁぁ…っ
はッ


は！…
あ、あ…
お腹の中…
は！…
は！…
精液で…
いっぱい…♥
は！…
は！…


こうたってば2人
ばっかりサポートしてっ
ほら・・・っ
とろ〜♥
私も気持ち良く
して・・・♥
は〜…
は〜…
は〜…
う、うんっ
んっ
は〜…
は〜…
は〜…
あっ
あっ
あっ


んっあっ❤
は！…
ま、また…っ
こうちゃんとつながれたぁ
は！…
は！…
パンッ
パンッ


ああっ
あああああっ
ドプッ
ドプッ
ドプッ
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ


こうた…っ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
は！…
は！…
んっ
は！…
んっ
ズポッ
ズポッ
ズポッ

は！
は！
は！
ビュルッ
ビュルッ
ビュルッ
はぁ
はぁ
はぁ
ビュルルッ
ビュルルッ
ビュルルッ
はぁ
はぁ
はぁ
ビュルルッ
ビュルルッ
ビュルルッ
はぁ
はぁ
はぁ



が、頑張った…っ

僕はよく頑張った…ぞっ

は…!

は…!

は…!

こうた…


また明日・・・
は！…
は！…
は！…
サポート・・・
お願いね♥
は！…


明日も・・・!?
明日もまた
こんなサポート・・・
するの!?
うっ
うっ


無理だーっ
わー!?
こうちゃんが
倒れた！
大丈夫。
生きてる・・・
今日のサポートは
ここまでだな・・・
バタッ



END

おまけイラスト☆




1万フォロワーって…
もうガチガチなんだけど…。
ちょっと
ぬるってるし…
それで…これを
私にどう使うつもりなの…？
ぞくぞく
あっ
はー…
あっ
ぬる…
はぁ
ビク
ビクッ
ビクッ
あぁっ
はー…
はぁ
はー…


ちょっ、蓮の意識飛んじゃってるじゃない…っ
は…
つ、次は私の番だからね…っ
え？中は危ないよ…？
そ、そんなの関係ないし…っ
い、入れてくれるなら…ちょっとくらい出ちゃっても気にしないんだから…っ
ひくッひくッ
ぐぽぐぽ
あ…っ


え？ナンスか先輩？
新型オナホを買ったので
それで抜いてほしい？
（？？なんの事かよくわからないけど）
自分ができる事ならなんでもやりますよっ
先輩にはお世話になってますから～。


せ、先輩これって…っ
こんな…エッチな…っ。
い、いくら先輩のお願い…でもっ
って先輩のおちんちんっ、
ガ、ガチガチなんですけど…っ
は…
は…
は…
は…
ヌルッ
ヌルッ
ヌルッ
ヌルッ


ビクッ
ビュルッビュルルッ
あああああっ
ビクビクしてる…っ
これ…精子っ
精子出てるんですか!?
せ、先輩の精液
すごい量……
そんなに…
このオナホ気持ち
良かったんですか？
は…！
わ、私以外の人に
こんな事頼んじゃ
嫌われちゃいますからねっ。
次も私に…頼んでくださいねっ
は…！
ビクッ…
は…！


え？何それ？
私のためにマッサージ機
買ってくれたの？
（か、肩こり用かな・・・嬉しい）
ふふっありがとうっ
後輩君は優しいね♡
ちょ・・・これっ普通の
マッサージ機・・・
じゃないよっ
ぶるるるるる
イクところ・・・っ
後輩君に全部
見られちゃった・・・っ
は…
あ、あ、あぁっ。
私のあそこっ
またイってる・・・っ
ビクン
ビクッ
ビクッ
ガクガクッ
は…
は…
は…


!!
んっ？
なにこれ…っ？
は!?バ、バカにしないでよ！
これの使い方位わかってるわよっ！
じゃあ使ってみてくれって？
い、いいわよっ！
で、出てる…っ
出てる…っ
うぅぅ～…。
こ、こんな事あんたにやってあげる女の子なんて私だけなんだからねっ
は…
びゅるるるっ
は…
…っていうかちょ、ちょっと出しすぎじゃない？そんなにこのオナホ気持ち良い…の？
は…
ビクッ
ビクッ
ビクッ



僕が親の転勤で
引っ越したのが３年前・・・

いつも一緒に過ごした
あの３人ともお別れする事に
なってしまった・・・

今でも・・・あの３人との
別れのシーンをありありと
思い出す事が出来る・・・


引越しする？
分かった・・・結婚しよう
僕たちまだ○学生だよっ!?
ひ、引越しってうそでしょ!?
お別れの品は・・・今はいてるパンツと靴下でお願いねっ！
お別れの品のクセが強いっ
引越しする？・・・そう
私の家の庭・・・犬小屋がひとつ余ってるから・・・
同級生をペット扱い!?
み、みんな・・・こんな僕と仲良くしてくれてありがとう
大きくなったらまたみんなで・・・
みんなで仲良く遊ぼうねっ


ガチガチちんぽでサポートしなさい。
巨乳ハーレム女学院生徒会
幼なじみ達を完堕ちさせた話。
ガチガチでチンポ

森木公太君・・久しぶりね
元気そうでなによりね

突然この女学園に
編入されて
びっくりしたでしょ？

あ、あおいちゃんのお母さん・・
いや、学園長先生っ
これはいったい
どういう事ですか？

・・・この学園はね

生徒会が
すごい力を
持っているの

今年の生徒会に
選ばれたのは
たった3人。

この3人たっての希望で
公太君をサポート役に
したいと指名してきたの

まぁ学費もタダだし
相手は仲の良かった3人だもの
良い学園生活になると思うわよ

これは今の彼女たちの
スペックと情報ね
しっかりサポート
してあげてね♪

生徒会

こ、ここが
生徒会室か・・・

こ、こんにちわ～


こうた…
元気そうだな。
こうちゃんっ
久しぶりっ
こうた君…
こんにちわ…。


や、やあ
みんな元気そうだね…。
僕、みんなのサポート役にって
転校してきたんだ。
前と同じように仲良くしてねっ。


大丈夫っ！
私たちはこうた君が
男性だからって差別なんかしないからっ


ポツーン…
みかん


あ、この雰囲気…
3年前と全然変わってない


いや格差っ
ごめんねー一応ほかの子たちの目もあるから…
ちょっとだけそこで我慢してね。たはは～っ


3人全員前と変わってないんだ…。


3人はずっとあの頃のままで
あおいちゃんがみんなをまとめて3人がすごい事を簡単にやっちゃう。
そして僕が…3人の後ろをついてって…。


なんだけど…
やっぱり女学院に男の子が僕一人って…


すっごく居心地が悪いよ～。

この時、僕はこの女学園の
サポートがどういう仕事か・・・

まったく理解していなかった・・・

そしてある日の放課後、
僕はカレンちゃんに呼びされた・・・


あ、カレンちゃんっ
確かこっちにプールがあったはずだけど・・・
こうた・・・ちょっとサポートしてほしいんだけど・・・
カレンちゃん・・・昔から運動神経が良かったけど今は水泳部のエースだもんなぁ
う、うんわかったっ
しかもすごく美人になっちゃってちょっと緊張しちゃうな・・・


学園長から聞いているぞ・・・
こうたはここを使って私をサポートしてくれると・・・
それじゃこうた・・・
え!?
まっ
ちょこっ
ぬる・・・
サポートお願い・・・
ぞくぞく
ビクッ
はー…
はー…
はー…
こうたの・・・すごく硬くなってるな
まって
まって
はー…
ちょっとぬるってるし・・・
あっ
びくん
こうたのは・・・もう準備良いみたいだな


ほらこうた・・・
はー…
それを私のあそこに使うんだろ？
はー…
はー…
う、うん
ぼ、ぼくはカレンちゃんのサポート係だから・・・しっかり期待に応えないとっ
んっ
あ、ああっ!?
す、すごいっ僕のが一瞬でカレンちゃんの中に吸い込まれたっ
はー…
はー…
い、いいぞっこうた・・・
はー…
はー…
もっといっぱい私の中で動いてみてくれ・・・っ
はー…


う、うん・・・っ
うわっ僕のあそこが愛液でテカテカに光ってるっ
出し入れするたびに膣肉がからみついて・・っ
すぐに出ちゃいそう・・っ
んっ
んっ
んっ
んんっ
あっ
あっ
あっ
こうたのサポートすごい・・・っ
あっ
あっ
あっ
こ、こうた・・・っ気持ち良い・・・っ


カ、カレンちゃん…っ
僕…もうっ！
はー…
こ、こうたっ
私も…っ
すごいのが…っ
はー…
あ、あああああっ
んんっ
んっ
んーッ


はー…
へたぁ…
はー…
はー…
や、やばかった…
ぜ、全部なかで
出しちゃう所だった…
はー…
はー…
こ、こうたのおちんちん…
すごく硬いのに優しくて…
気持ち良かった…
こうたのサポート
すっごく良かったぞ…
はー…
はー…
はー…
ぶるっ
ぶるっ
ガクガク
ああっ
カレンちゃんっ
今、イッた所だからっ
あっ
あっ
こうた…
やっぱり私は…
将来お前と…

この女学園のサポートが
あんなエッチな事だったなんて・・・

今日はみずきちゃんに
文芸部の部室・・・
図書室に呼び出された

まさか昨日のような事は
おきない・・・そう思っていた・・・


あ、こうた君・・・
もういらしていたんですね・・・
こうた君・・・
今日は付き合って頂いてありがとうございます・・・
うん、僕も読みたい本があったから
全然いいよっ
みずきちゃんとはよくこうやって本を読んでたけど・・・
今は作家を目指してるんだっけ
カチャカチャ


わっ
ど、どうしたのっ!?
ビク
メガネ
・・・煮詰まりました。
え？
それじゃあ
こうた君・・・
サポートして・・・
頂けますか？
する・・・
あ、あー・・・なるほど
みずきちゃんも・・・
サポートするんだ・・・
そりゃそうだよね・・・
ぽたん・・・


そ、それじゃあみずきちゃん入れるよ…
あっあっあっ入ってきた…っ
は…
こ、こうた君のおちんちんが私の…中にっ
は…
ぬるる…
は…
あっ
あっ
あ、あああっ！
えっ!?
えっ!?
み、みずきちゃんもしかして入れただけでイっちゃった？
は…
こ、こうた君…
は…


こ、こうた君の…
おちんちん…
すごく硬い…
はー…
すごく硬くて…
気持ち良い…
はー…
私…気持ち良いですっ
やっぱりみずきちゃんって…
すごく感じやすいんだ…
はー…
ぬるるる～っ
う、動くよ…っ
はー…
あっ
あっ
はー…
アッ
アッ
アッ
はー…


か、硬い・・・っ
硬い・・・ですっ
かた・・・っ
ぐぐぐっ
は！…
ぢゅッ
ぢゅッ
ぢゅ〜〜〜♥
は！…
は！…


み、みずきちゃんの中・・・っ
そんなに動いたらっ
ぼく・・・もうっ
わ、私も・・・っ
はー…
はー…
イ、イクッ
ひっ
あっ
あっ
ああっ
あああぁ・・・っ


はー…
はー…
はー…
ヒロオ…
はー…
まだ硬いですね…っ
くちゅ
あっ
ビク
はー…
はー…
はー…
こうた君…っ
もう離れないでくださいね…
はー…
ぎゅっ
すっ

２日連続でのセックスサポート・・・

あまりの荒唐無稽さに僕は
ほとほとに疲れてしまった・・・

幸い２人は今日は欠席・・・
保健室でゆっくり休めるはずだった・・・




き、今日はカレンちゃんと
みずきちゃんがいないから・・
ちょっと・・・
休ませてもらおう・・・


あおいちゃんは
今日も元気だったなぁ・・・
それなのに僕は2人の
サポートだけで体力が・・・


スー・・・
スー・・・


こうた君？


あれ!?
ガチ寝しちゃってる・・・
スー…
スー…
こうた君・・・昔から
身体弱かったものね・・・
・・・・・・
そういえば私のサポート
してくれるんだよね・・・?
ちょっとだけ
だから・・・っ
そ、それじゃあ
ちょっとだけっ
ギシッ


こうちゃん…っ
こうちゃん…っ
こうちゃんに貰った靴下
まだ大事に持ってるんだからっ
こうちゃんの匂い…っ
におい…っ
におい♥
ぎゅうぅ
はー…
はー…
はー…
びくびく
さわさわ
さわ

ここが…いちばん
こうちゃんの匂いが強いねっ
くちゅ♥
くちゅ♥
すっごく
硬くなってるよ？
びくん

こうちゃんのあそこ…
ガチガチでとろとろっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
こう？こすられるの
気持ち良い？
びくびくっ


ん…？
なんだろう…
あそこがすごく
あったかい…
えっ!?
は…
あ…っ
こうちゃん起きた？
は…
ごめん…ね？
私ちょっとサポート
してもらうと思って…っ
は…
くちゅ…
は…
だ、大丈夫っ
私うまくやるからっ
は…
こうちゃんは
じっとしてて…っ
は…
ぬろろろ
あっあっ
ほ、ほら全部っ
入るから…っ
は…


わ、私が動いてあげるからっ
はー…
こうちゃんはいっぱい気持ち良くなっていいよ❤
ぬるぅ…
はー…
こ、こうちゃんの…っすごい…っ
こ、こんな硬いなんて…っ
ぬるぅ…
はッ
え、ちょっと待って…っ
腰…止まんないっ
硬い…っ
か、硬い…っ
硬いっ
はッ
ぢゅッ
ぢゅッ
ぢゅッ
ぢゅッ
ぢゅッ


これ・・・やばいっ
き、気持ち良いっ
はー…
ぬぷ
はー…
硬いっ
はー…
硬いっ
はー…
ぬぷ
ぬぷ
ぬぷ
あ、あおいちゃんのあそこもっ
気持ち良いよっ
あっ
あっ
ぱんぱんぱんぱんぱんぱん
ほ、本当？
嬉しいっ
私もこうちゃんの
おちんちん・・・っ
気持ち良いよっ
ぱんぱんぱんぱんぱんぱん


ご、ごめんっ
こうちゃん・・・っ
はー…
私・・・っ
先にイクッ
はー…
イき・・・そうっ
はー…
はー…
イクッ
ギュラっ
イクッ
あおいちゃんっ
そんな締め付けたらっ
ぼくも・・・っ
はー…
はー…
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
はー…

出る…っ
出ちゃう…っ
ビクッビクッ
あっ
ぐちゃぐちゃ
あっ
あっ
はぁ…
はぁ…
はぁ…


は…！
男の子ってこんなにいっぱいでるんだね…っ
は…！
すごい…❤
は…！
ドピュ
こうちゃんの…まだ硬い…
は…！
ぎゅっ
は…！
こうちゃん今日はサポートありがと…
は…！
すっごく気持ち良かった…っ
は…！
また…明日もよろしくね❤
は…！

生徒会だけに伝わる
エッチなサポート・・・

もちろんこの事は
他の生徒には他言厳禁・・・っ

とはいえ表立った生徒会執行部の
サポートも僕の大事な仕事だった


うわ〜っ
ちょっと遅れ
ちゃったっ
ん？
どうしたんだろ
だ・か・ら〜
私が1番忙しいんだから
こうちゃんは私の専属に
すべきって言ってるの！
どーん!!
ダメ…
ダメ…
こうたの独り占めは
許さない…
な、何を
言い争ってるんだ…汗


私はこうちゃんのためなら・・・
フェラ・・・だってしてあげるんだからっ
こうたが求めるなら私だって・・・
どんな場所でだって応じてあげられる・・・
はぁ
こ、更衣室!?バレたら大スキャンダルじゃないっ
私も・・・
はぁ
はぁ


こうたくんのどんな性癖でも応えてあげられる…
さわっ…
に、にくべ!?
い、いちまん!?
これあいつが書いたの!?
公衆肉便器
正正
一万回
む〜〜…
あ、あの〜…
通してもらって…いいですか…
!!
こうちゃん…っ
通ればいい　じゃない！
ばっ
あーうん、どいてくれない感じね…
お、おっぱいの圧がすごい…


…
ギュッ
えっ
グイッ
ど、どうしたの？
別に…
ガラッ
パッ
えっ
なにこれ!?
ドン
えへへ
びっくりした？
おかあ・
理事長に頼んでね
だ・か・ら❤


今日は3人まとめて
は…
は…
は…
は…
サポートして
頂戴ね♥
むあ…


あっちょ、
まって…っ


今日ぼくは…
生きて帰れるのだろうか…
あっ
あっ


はー…
これがこうたの…
はー…
ちゃんと見るの
初めて…
ギンギン
はー…
はー…
はー…
あっ
はー…
はー…
ああっ
はー…
ちゅ♥
ちゅ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ちょっ
はー…
はー…
ちょっと
まってっ
はー…
でるっ
でちゃうっ
ビュッ
ビュッ
はー…
はー…
とめて
とめてっ
はー…
ビュルルルル
ビュルルルル
ビュルルルル
はー…


あっ
あっ
あああ・・・っ
ビュッビュッ
ビュッ
む〜私だってフェラしたこと無いのに・・・
は〜!
は〜!
は〜!
は〜!
それじゃあこうちゃん・・・
私はキスしちゃうから・・・
は〜!
は〜!
ん・・・っ
んん・・・っ
ちゅぱっちゅぱっ
ヒクン
あ・・・っ
また大きくなってきた・・・
むんむん


それじゃこうた
最初は私から…
サポートお願い…
は！…
は！…
は！…
くぱぁ


カレンちゃん…
入れるよ…
くちゅ
んっ❤


う、うん
は！…
は！…
は！…


あっ
あっ
くぷっぷぷっ
んっ
んっ
んんーっ
ふーっ
ふーっ
ふーっ
ちゅぷぷっ
やっぱり…
こうたの…すごいっ
はーっ
はーっ
はーっ
こうた…
好きに動いて
いいぞっ
はーっ
う、うん
はーっ
はーっ
カレンちゃん
動くよ…
あっあっ


あっ
は！…
あっ
は！…
あっ
は！…
は！…
パン
パン
パン
パン
パン
き、気持ち良いっ
こうたっ
は！…
は！…
パチュッ
パチュッ
パチュッ
パチュッ
は！…
は！…
は！…
イクっイクっ
ぼ、ぼくもっ
は！…
は！…
は！…
え!?
ちょっ
カレンちゃん!?
ガシッ
は！…
は！…
は！…


あっ
はー…
あっ
はー…
あっ
はー…


あー中で出したっ
はー…
はー…
ずるーいっ
はー…
はー…


ひっ
はー…
はー…
はー…


それじゃあ
こうた君・・・っ
次は私・・・
はー…
サポートしてください・・・
はー…
はー…
はー…
ま る・・・
ズブブブ
はー…
う、うん
でもちゃんと
拭かないと・・・
トロ…
そのままで
いいから・・・
はー…
はー…
くちゅ♥
はー…


はー…
みずきちゃんの中…
熱い…っ
はー…
ぐにぃ…

はー…
あっあっ私…っ
はー…
はー…
はー…
すごく気持ち良いっ
ズボッ
ズボッ
ズボッ


み、みずきちゃん
はー…
そ、そろそろっ
はー…
ギュラララ!!
はー…


外は…だめっ
はー…
ぐぃ!!
中に…ください…っ
はー…
はー…

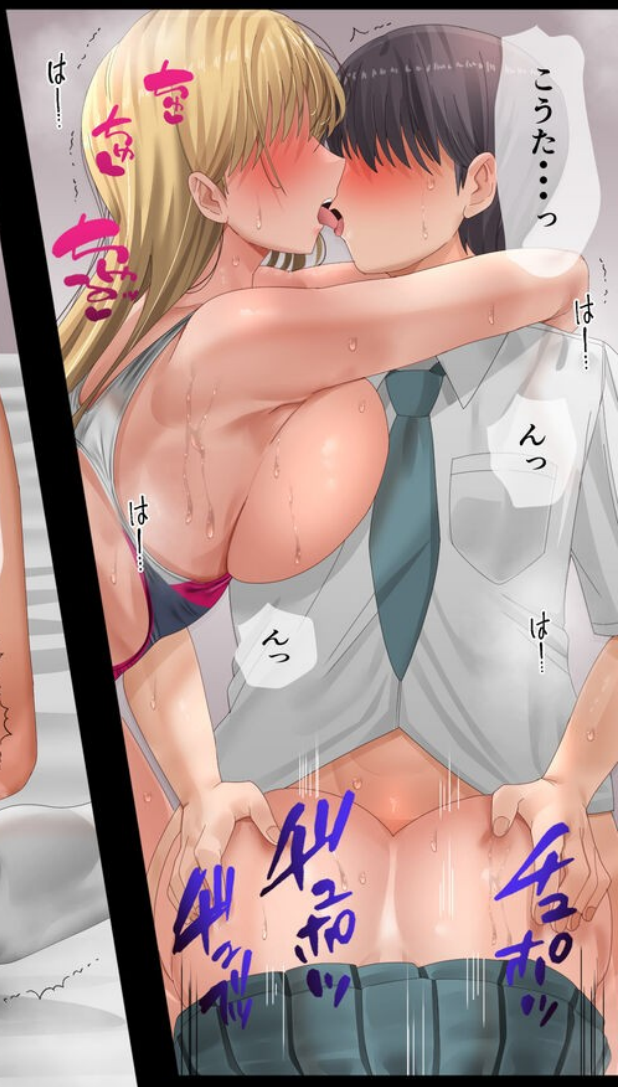

あっ
あっ
はッ
あ、あぁぁ…っ
はッ


精液で…
いっぱい…♥
は!…
は!…
あ、あ…
お腹の中…
は!…
は!…
は!…


こうたってば2人
ばっかりサポートしてっ
ほら・・・っ
はー…
とろぉ♥
ひくっ
ひくっ
私も気持ち良く
して・・・♥
はー…
はー…
う、うんっ
ぴくんっ
んっ
はー…
にちゅ
はー…
はー…
あっ
あっ
あっ
ぴくっ
ぴくっ
じゅぷぷ…


んっあっ❤
は！…
ま、また…っ
こうちゃんとつながれたぁ
は！…
は！…
パンッ
パンッ


ああっ
あああああっ
ドプッ
ドプッ
ドプッ
どぴゅっ
どぴゅっ
どぴゅっ


こうた…っ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
は！…
は！…
んっ
は！…
んっ
ズポッ
ズポッ
ズポッ

は！
は！
は！
ビュルッ
ビュルッ
ビュルッ
はぁ
はぁ
ビュルルッ
ビュルルッ
はぁ
はぁ
ビュルルッ
ビュルルッ
はぁ
はぁ
ビュルルッ
ビュル



が、頑張った…っ

僕はよく頑張った…ぞっ

は…

は…

は…

こうた…


また明日・・・
は！…
は！…
は！…
サポート・・・
お願いね♥
は！…


明日も・・・!?
明日もまた
こんなサポート・・・
するの!?
うっ
うっ


無理だーっ
わー!?
こうちゃんが
倒れた！
大丈夫。
生きてる・・・
今日のサポートは
ここまでだな・・・
バタッ



END

おまけイラスト☆




1万フォロワーって…
もうガチガチなんだけど…。
ちょっと
ぬるってるし…
それで…これを
私にどう使うつもりなの…？
ぞくぞく
あっ
はー…
あっ
ぬる…
はぁ
ビク
ビクッ
ビクッ
あぁっ
はー…
はぁ
はー…


ちょっ、蓮の意識飛んじゃってるじゃない…っ
は…
つ、次は私の番だからね…っ
え？中は危ないよ…？
そ、そんなの関係ないし…っ
い、入れてくれるなら…ちょっとくらい出ちゃっても気にしないんだから…っ
あ…っ
ぷるぷる
ひくッひくッ
ごぽごぽ


え？ナンスか先輩？
新型オナホを買ったので
それで抜いてほしい？
（？？なんの事かよくわからないけど）
自分ができる事ならなんでもやりますよっ
先輩にはお世話になってますから～。


せ、先輩これって…っ
こんな…エッチな…っ。
い、いくら先輩のお願い…でもっ
って先輩のおちんちんっ、
ガ、ガチガチなんですけど…っ
はー…
はー…
はー…
はー…
ヌルッ
ヌルッ
ヌルッ
ヌルッ


ビクッ
ビュルッビュルルッ
あああああっ
ビクビクしてる…っ
これ…精子っ
精子出てるんですか!?
せ、先輩の精液
すごい量……
そんなに…
このオナホ気持ち
良かったんですか？
は…！
わ、私以外の人に
こんな事頼んじゃ
嫌われちゃいますからねっ。
次も私に…頼んでくださいねっ
は…！
ビクビク…
は…！


え？何それ？
私のためにマッサージ機
買ってくれたの？
（か、肩こり用かな・・・嬉しい）
ふふっありがとうっ
後輩君は優しいね♡
ちょ・・・これっ普通の
マッサージ機・・・
じゃないよっ
ぶるるるる
イクところ・・・っ
後輩君に全部
見られちゃった・・・っ
は…
あ、あ、あぁっ。
私のあそこっ
またイってる・・・っ
ビクン
ビクッ
ビクッ
ガクガクッ
は…
は…
は…


!!
んっ？
なにこれ…っ？
は!?バ、バカにしないでよ！
これの使い方位わかってるわよっ！
じゃあ使ってみてくれって？
い、いいわよっ！
で、出てる…っ
出てる…っ
うぅぅ～…。
こ、こんな事あんたにやってあげる女の子なんて私だけなんだからねっ
は…
びゅるるるっ
は…
…っていうかちょ、ちょっと出しすぎじゃない？そんなにこのオナホ気持ち良い…の？
は…
びゅっ
びゅっ
びゅっ

